

本書を利用するにあたって

私たちは、いつでも自由に情報を得たり、発信したりできる高度に発達した情報社会に生活しています。インターネットに接続すれば、地球の反対側にある国の出来事を知ったり、電子メールを使っていつでも容易にコミュニケーションをとることもできます。

今や、日本は人口の約8割の人たちがインターネットを利用し、企業でも、コンピュータとインターネットを日常的に仕事で利用しています（総務省「情報通信白書」より）。皆さんは誰もが何らかの形でコンピュータやインターネットを使う社会に暮らしているのです。

大学においても、理系・文系に関わらず、コンピュータを活用することは当たり前になっています。学修のために調べたり、ワープロでまとめたりと、道具としてのコンピュータやネットワークの利用は、ますます盛んになってきています。

本学でも、メールでの連絡、履修登録や休講情報、呼び出し連絡など、普通の大学生活に必要な情報をコンピュータとネットワークによって得ることが必須になっています。また、授業でも学修支援システム（Blackboard@Tamagawa）が全学部で利用されています。このシステムによって授業時間以外でも予習／復習／課題作成・提出などができるような環境で学ぶこととなります。

このように生活に浸透している便利なコンピュータも、正しく、効率的な利用方法を知っていなければ十分な活用はできません。また、誤った使い方をすれば、危険な道具にもなることがあるのです。このようなことがないよう、基礎的な知識と、利用方法、およびマナーやルールをしっかりと身につけなければなりません。

このガイドブックでは、本学におけるコンピュータとネットワーク利用に関する基本的な事項と注意事項が解説されています。

第Ⅰ部は、必ず知っておくべき知識を、第Ⅱ部では、実際に利用するうえでの具体的な内容が示されています。これらのことは、すぐにでも身につけておくべきことですので、このガイドブックをよく読み、必ず自分自身で確かめながら修得してください。そして、より積極的にコンピュータを活用して大学生活を有意義なものにしてください。

■初めにしておくべきこと

大学のIT環境を利用する上で、まず初めにしておくべきことは以下のとおりです。このガイドにしたがって、各項目を自分で確認してください。

-
- ◆このガイドを読む。

 - ◆自分の初期パスワードを変更する。 (p.55 ~ 57)

 - ◆自分のパソコンにウイルス対策ソフトをインストールし動作確認する。 (p.28 ~ 29)

 - ◆学内の大学共通コンピュータ演習室の場所を確認する。 (p.68 ~ 69)

 - ◆サポート・デスクの役割と、場所を確認する。 (表紙裏)

 - ◆Blackboard@Tamagawaにアクセスしてログインする。 (p.78 ~ 81)

 - ◆UNITAMAにアクセスしてログインする。 (p.74 ~ 75)

■してはいけないこと

以下の行為は、法令によって、または社会的な規範の観点から禁止されている行為です。

1 犯罪行為、違法行為、またはそれに準ずる行為

- (1) アカウント（ユーザ名とパスワード）を不正に使用する行為
他人のアカウントを使用したり、自分以外の人に自分のアカウントを使用させる、などの行為も含まれます。
- (2) 大学共通コンピュータ演習室内での飲食、喫煙、携帯電話の利用、および機器の無断持ち出しや破壊行為
- (3) 著作権や知的所有権、プライバシーを侵害する行為
- (4) 大学のコンピュータシステムへの侵入、データ改ざん、故意にシステムを害したり、混乱させたり、性能を変更したりする行為

2 迷惑行為、公序良俗に反する行為

- (1) 迷惑メールの転送および発信行為
- (2) メールによるいやがらせや、電子掲示板などへの誹謗中傷書き込み
- (3) わいせつ画像の閲覧や提供
- (4) 大学生活にかかわる目的以外の営利を目的とした行為



これらの禁止・違反行為を行った者は、大学の審議を経て、学内のコンピュータおよびネットワークの利用を取り消されると同時に、行為によっては厳重な処罰の対象となります。